



恕の心



令和3年12月2日 校長 廣瀬 真樹

【芸術の秋②】 森の五重奏団演奏会

丸内中学校音楽室がコンサートの会場に！文化庁の芸術家派遣事業で本校にプロの木管五重奏団がきました。そしてなんと音楽室で音楽の授業に入る形で演奏会を開いていただきました。演奏のレベルもさることながら、楽器紹介や曲の紹介、また体験コーナーなどまさに楽しさ満載のコンサートでした。また夜にはリハーサルを兼ねて丸内中学校下健全育成会議の主催でサロンコンサートが開催されました。

本物を味わうことができたことに本当に感謝です。かっいい曲ほど本当は演奏するのがとても難しい。それを簡単そうに演奏するのはなお大変なはずです。決して手抜きをせず、音楽や楽器に真剣に向き合っている演奏だからこそ感動できるのだと思います。心が豊かにそして温かくなったひと時でした。



【瀬戸内寂聴さんについて】

【瀬戸内寂聴】
本当の
優しさとは、
相手を理解し、
相手の心情を
思いやる
想像力を
持つことです。

瀬戸内寂聴さんは2021年11月9日、99歳で亡くなりました。作家であり僧侶でもある彼女が残した名言はたくさんありますが、私は個人的にこの言葉が本当に印象に残っていて、大事にしていることでもあります。

こういう想像力は「人」が人と人の「間」で生きていく、つまり「人間」になるうえで絶対必要なことだなあと思うことが最近よくあります。

相手の思いを想像することは生きていくうえで本当に大切なことだと思います。優しさとは相手の心の痛みにそっと寄り添う事。そして人は自分が傷ついた分だけ他人にも自分にも優しくなれるのだと思います。大切にしたい言葉です。

